



報道関係各位

令和3年6月14日

長崎災害リハビリテーション推進協議会(長崎 JRAT)
国立大学法人東京大学大学院工学系研究科

避難所で利用可能な健康管理支援システムなどの開発・実証を推進するために、産学官7者による協定を締結します

自然災害が頻発する季節を迎え、コロナ禍は避難所生活に大きな課題を呈しています。避難者の健康状態を一元管理することは、感染対策と効率的な避難所運営のために有効です。

長崎市、国立大学法人長崎大学、国立大学法人東京大学大学院工学系研究科、長崎災害リハビリテーション推進協議会、一般社団法人是真会、株式会社長崎ケーブルメディア、サイントル株式会社は、最新技術の人体に貼付する生体センサを活用し、遠隔で避難者の健康を管理可能なシステムの研究、開発、実証、実用化を推進することとし、次のとおり協定締結式を行います。

1. 協定名 「災害時避難所等生活支援機器・システムの開発・実証・実用化に関する協定書」

2. 締結式日時 令和3年6月19日(土) 16:00~16:30

3. 会場 長崎市立諏訪小学校体育館 (長崎市諏訪町7-13)

4. 出席者	長崎市	長崎市長	田上 富久
	国立大学法人長崎大学情報データ科学部	学部長	西井 龍映
	国立大学法人東京大学大学院工学系研究科	研究科長	染谷 隆夫
	長崎災害リハビリテーション推進協議会	代表	松坂 誠應
	一般社団法人是真会	理事長	栗原 正紀
	株式会社長崎ケーブルメディア	代表取締役社長	峰 利克
	サイントル株式会社	代表取締役	佐藤 泉

5. 次第

- ① 挨拶
- ② 署名
- ③ 写真撮影
- ④ 概要説明

6. 協定内容 災害時における日常生活機能の破綻による生活不活発病および災害関連死を予防し、避難所生活等からの早期自立、早期復興を目指すために、リハビリテーション支援の観点から、効率的かつ有効な機器・システム開発・実証そしてその実用化に関する連携・協力について協定を締結するものです。

7. その他 協定締結式に関連し、当日、同会場にて下記を予定しています。

09：30～13：30 避難所体験会

12：00～16：00 健康管理支援システム実証試験

14：00～16：00 シンポジウム【災害レジリエンス地域を目指して！】

～防災危機管理から最先端技術による

災害時避難所生活支援に至るまで～

8. 添付資料 ①「健康管理実証システム実証試験」概要

② 避難所体験会、健康管理支援システム実証試験、シンポジウム概要

・ 本件に関し、解禁条項は定めません。

・ 遠隔でもご取材いただけますよう、取材用 ZOOM を準備します。現地・ZOOM によるご取材、いずれも下記フォームか QR コードよりお申込みください。（取得した情報は他に利用しません）

<https://forms.gle/EdJqk8kBwoUePaPm6>



・ 取材申込先、本件に関するお問い合わせ先

長崎災害リハビリテーション推進協議会（長崎 JRAT）事務局

担当：吉野

国立大学法人東京大学 大学院工学系研究科 広報室

担当：丸川

・ 「健康管理支援システム」研究に関するお問い合わせ先

国立大学法人東京大学 大学院工学系研究科 染谷研究室

担当：池ヶ谷

サイントル株式会社

担当：長岡